

(第12回通常総会) 12/14 運営スタッフ会議

2025年度「天空の里 いもい農場」のまとめと2026年度のすすめ方

2026年1月24日

天空の里 いもい農場

1. 提案

2025年度の活動を振り返り、2026年度のすすめ方について報告します。

2. 趣旨

2025年度の天空の里 いもい農場（以下、いもい農場）は、12年目（通算23年目）の活動を無事、終えることができました。「長野市芋井地区の里山をフィールドに、野遊びや農作業体験を通じて、自然を感じ、環境・農業・食べ物を大切に思う気持ちが育むこと」、「中山間地域の人々と都市部の人々との交流を図ること」、「中山間地域の森や農地の保全、食文化の継承・発展につながること」を目指し、国連が提唱するSDGsの目標に活動を照らし合わせ、芋井社会会館を舞台に実施しました。一年を通して、多くの人が芋井に集い、すばらしい体験、思い出を参加者にお届けすることができました。

3. 活動概要

(1) 参加

- ① 登録人数 … 132人 内訳：大人72人、子ども60人 ※参考：2024年度登録は125人
② 年間参加人数…大人560人・子ども468人（合計1,028人） ※参考：2024年度のべ1,005人

(2) 参加費 … 大人3,000円、子ども2,000円、飛入参加1人1回500円

(3) 活動内容と参加人数

回	日付	曜日	内容	人数
1	4/19	土	開講式、ジャガイモ・長ネギの植え付け、ハツカダイコン・カブ・ニンジンの種まき、野草の天ぷら試食、自己紹介アイスブレイク	94
2	5/3	土	野菜苗の植え付け、リンゴの花つみ、薄焼き作り、広瀬集落・清水集落さんぽ、薄焼き試食	76
3	5/18	日	サツマイモ・落花生の植え付け、ドロ遊び（ジャンケン列車「ドーロドロ号」）、農家のお小屋（おこびる）	27
4	5/31・6/1	土・日	田植え、天空カフェ	81
5	6/14	土	田んぼの生きもの探し、おやき作り	71
6	7/5	土	草取り・野菜収穫・リンゴの摘果・山楽会プレゼント竹のクラフト・タケノコ料理	90
7	7/19	土	朝5:00集合「農家の朝」体験、ジャガイモ・ダイコン・ミニトマト・ズッキーニ・ピーマン収穫、草取り、リンゴの摘果、農家の朝ごはん、天空七夕、探蝶会	50
8	8/2	土	ジャガイモ・ピーマン・ナス・ズッキーニ・枝豆・ミニトマト収穫、リンゴの摘果、摘果りんご企画、新ジャガカレー作りと交流	70
9	8/30	土	ハクサイ・ダイコンの植え付け、夏野菜バーベキュー、平和を考える夏	67
10	9/13	土	稻刈り、文字絵リンゴ作り（シナノスイート）、葉物野菜の種まき、梅シロップ水割りで乾杯	65

11	9/28	日	脱穀、子どもファーム収穫、ワラ遊び、天空ハロウィン準備	35
12	10/18・ 10/19	土・日	リンゴ（シナノスイート・文字絵リンゴ）収穫、サツマイモ収穫、天空ハロウィン、新米ごはん、番外編でリンゴチップス作り	69
13	11/1	土	ダイコン・長ネギ・落花生の収穫、玉ねぎの試し植え、畑の片付け、名水カフェ、リンゴチップス・ゆで落花生試食	68
14	11/15・16	土・日	リンゴ収穫（フジ）、ハクサイ・ネギ・カブ・チンゲン菜・野沢菜収穫、畑の片付け、焼き芋、収穫祭、天空カフェ、天空マルシェ、リンゴチップス作り（フジ15日・16日）、野沢菜切り漬け作り（16日）	107
15	11/29・30	土・日	芋井社会会館大掃除、クラフト、すいとん作り、閉講式、リンゴチップス作り（フジ29日・30日）	58
合計				1,028

▼1回は、芋井地区住民自治協議会の西澤会長・岸さん、長野市芋井支所の西沢支所補佐、地主の和田さんに参加いただき、ご挨拶を頂戴しました。

▼4回の活動で、松本忠富農園の視察を受け入れました。

(4) 特別企画

回	日にち	曜日	内容	人数
1	4/26	土	マルチ敷などの作付け準備、炊き立てご飯	7
2	5/11	日	田んぼの施肥・リンゴ花摘み・新型草刈り機披露式	10
3	5/25	日	リンゴの摘果、ハツカダイコンの収穫、誘引教室と誘引、リンゴジュースで乾杯	8
4	6/21	土	第1回地域まるごとキャンパス草刈りバスターズ、草刈り＆リンゴの摘果＆子どもファームメンテナンス＆稻の捕植	9
5	6/28	土	リンゴの摘果＆カブ・ハツカダイコン・ズッキーニ収穫＆ニンジンの間引き＆農道清掃	19
6	7/26	土	第2回地域まるごとキャンパス草刈りバスターズ、オリエンテーション、農道清掃、遊休地草刈り、ミニトマト・ニンジン・ズッキーニ収穫、水浴び、リンゴジュースで乾杯	15
7	8/9	土	第3回地域まるごとキャンパス草刈りバスターズ、オリエンテーション、農道清掃、遊休地草刈り、ミニトマト・ズッキーニ・ピーマン・ナス収穫、子どもファームの野菜（シットウ・トマト・キュウリ）収穫、手打ちうどんで昼食交流	8
8	8/23	土	「夏フェス」「天空カフェ＆バー」マルチ敷、軽食・飲料のキッチンカーの出店、流しそうめん、お下がり市、クラフト体験、スイカ割、野菜争奪ジャンケン大会	109
9	8/30	土	被爆80年 過去を学び・平和を考える 映画「ひろしま」上映会 In 松参寺	40
10	9/7	土	草取り・草刈り、BBQ	15
11	9/20	土	第4回地域まるごとキャンパス草刈りバスターズ、オリエンテーション、農道清掃、遊休地草刈り、ミニトマト・イチジク試食、おやき作り	6
12	12/6	土	障子はり＆焼きマシュマロカフェ	11
合計				257

(5) 活動日外の活動

活動内容	開催日・参加した日	人数
●活動をサポートする内容		
機関会議（役員会、運営スタッフ会議）	3/9、4/6、9/7、12/13	54
事前準備等（耕耘作業、作付準備、牛糞堆肥運搬、小屋のペンキ塗り、芋井地区住民自治協議会等訪問、長野市民新聞取材、長野県更級農業高校視察、リンゴジュース引き取り、他）	3/22、3/23、4/5・6、4/12、4/18、5/2、5/6、5/16、5/23、6/8、7/13、7/24、7/30、8/17、9/12、9/12、9/17、10/10、11/5、11/15、11/21、11/22、11/25、12/2	78
●地域貢献活動 ※広瀬地区一斉清掃は、特別企画の中で実施		
援農ボランティア（剪定枝の片づけ）	3/29	2
市道・農道の草刈り、池平地区県道（草刈りバスター）、広瀬神社、遊休農地、芋井社会会館草刈り等	5/16、6/8、6/15、7/26、8/23	7
●イベント参加等		
長野地域子どもカフェプラットフォーム ※全体会、研修等	6/17、7/8、7/28、11/25	7
ながの子ども・子育てフェスティバル実行委員会 ※子育てフェスタ	8/27、11/9	7
ながのボランティア・市民活動ネットワーク ※月例情報市場・総会・ささえい応援金公開審査	2/19、3/19、5/21、5/30、7/16、12/17	6
芋井地区住民自治協議会 ※いもいりビングらば	5/16、6/20、9/19、10/17、12/19	5
長野市ボランティアセンター ※ボランティアのつどい	3/2	5
地域まるごとキャンパス実行委員会 ※団体説明会、学生説明会、学生交流会	6/5、12/7	4
(公財)長野県長寿社会開発センター長野支部 ※高齢者に関わる関係団体のネットワーク会議、出会いの広場	2/26、9/17	3
長野県立大学ソーシャル・イノベーション創出センター ※学生と地域の共創-玉滝村の取り組みを知って話す夜-	2/12	1
ふれあい祭り秋 2025 実行委員会 ※第2回ふれあい祭り秋実行委員会	8/1	1
被爆体験を聞く会 ※映画「ひろしま」	8/24	1
長野市子ども政策課 ※長野市みらいハッ!ケンプロジェクト 参画パートナー交流会	10/16	1
長野市ボランティア連絡協議会 ※市民会議	12/20	1
長野県 NPO センター ※「未来へ向けて市民の言葉を重ね合う全国ダイアログリレー」in 長野	12/22	1
合計		184

(6) マスメディア等

回	日付	曜日	媒体	内容
1	3/22	土	長野市民新聞	2025 年度参加者募集
2	3/29	土	週刊長野	2025 年度参加者募集
3	5/22	木	長野市	バス路線維持へのパブリックコメント提出
4	6/5	木	長野市民新聞	天空カフェ
5	8/16	土	長野市民新聞	活動通信 100 号
6	9/2	火	信濃毎日新聞	平和学習会
7	12 月		公財) あしたの日本を創る協会	まちむら 172 号

(7) 栽培した種類と品目数 … 下記の 23 品目（2024 年度 22 品目）

ジャガイモ（キタアカリ）、長ナス、ジャンボピーマン、ミニトマト、長ネギ、ズッキーニ、カボチャ、落花生、サツマイモ（ベニアズマ・安納芋）、ダイコン（夏・秋）、ハツカダイコン、ハクサイ、ホウレンソウ、コマツナ、カブ（夏・秋）、チンゲンサイ、野沢菜、リンゴ（シナノスイート・フジ）、あきたこまち

4. 2025 年度のまとめと 2026 年度の進め方

(1) 2025 年度のまとめ

● 概要

芋井地区住民自治協議会を中心に、いもいリビングらぼや地域からの依頼に応えた県道・広瀬神社の草刈りなどに参画し、地域とのつながりを深め、頼りにされる存在を目指しました。また、マダニやハチ、熊への対処をメールマガジンや朝の会での周知、活動開始前の点検を実施し、安全な場の運営を行いました。一年を通じて、楽しい場を芋井広瀬地区で実施する事ができました。

① 楽しい食農活動を実施します。

- ・ 過去最高の登録参加人数・参加者人数（特別企画を含む）となりました。
- ・ 運営スタッフが手薄になる企画には、参加者に畑作業や調理、配膳、片づけなど、作業分担を積極的に行いました。活動に主体的に関わることにつながった結果、参加者レビューから大人・子どもとも、それぞれ「参加して良かった」「楽しかった」と思ってもらえるような場を作りました。
- ・ 運営スタッフの負担軽減に取り組みました。料理の品目減や、畑作業効率化で高機能の管理機を借りて作業を進めました。また、令和 6 年度広域活動団体基盤強化配分（長野県共同募金会）の助成でスパイダーモア・プロワーを導入し、負担軽減につなげました。
- ・ 田んぼの生きもの探しでは、Team Yamasho（チームやまっしょ）との連携企画として、Team Yamasho から生きもののエキスパート 2 人（高校生）が講師として参加いただきました。
- ・ クラフト・探蝶会では、山楽会から人員を派遣いただき、参加者と楽しい交流を行うことができました。
- ・ 運営スタッフのできることを活かして、多世代交流の充実を図りました。
- ・ 暑さや病害虫で、思うように野菜栽培ができませんでしたが、数少ない育った野菜は、草取りや間引きなど丁寧に行い、収穫をして、みんなで分け合いました。
- ・ 家に帰ってからもいもい農場の話題が持ち上がるといった、「参加者それぞれの暮らし」に浸透している様子がうかがえました。特に、お米やリンゴは、田植えや稻刈り・脱穀、花摘み・摘果などの大変な作業を経験したことにより、収穫物を味わう感動は人一倍大きかったようです。
- ・ 野菜乾燥機を活用したリンゴチップス作り企画を、収穫タイミングに合わせて実施しました。また、加工用のリンゴを活用してジュースの生産加工をたかやしろファームに依頼を行いました。それぞれ、試食や余剰分を販売することで、次年度の活動充実につなげる資金集めを行いました。販売に関わる POP 作成や準備、販売対応は、運営スタッフジュニアが担いました。
- ・ 下の田んぼの活用を再開しました。泥遊びや、稻の試験栽培を行いました。水が良く抜けてしまう田で、管理に手間がかかることが分かりました。
- ・ 遊休地になった場所を新たに借り受け、子どもたちだけで運営を行う「子どもファーム」を行い

ました。活動の都度、参加集約を行い、運営スタッフジュニアが中心に作付けや草取りをすすめ、夏以降、収穫を適宜行いました。大変だった一方で、一年を通した畑の活用は、楽しかったといった感想がありました。

- ・山楽会のご協力で、シニア世代の交流が進みました。

② 活動を社会貢献につなげます。

- ・特別企画を中心に地域課題を伝える機会を作り、それぞれが地域を考えるきっかけを作りました。
- ・リンゴ栽培に関心を寄せるきっかけ作りで、「芋井」文字絵リンゴつくりを行いました。作った文字絵リンゴは、参加者に記念に持ち帰ってもらいました。また、芋井の里さん、森の駅 Daizahoushi さんへディスプレイ用に寄付をしました。
- ・一般社団法人ながの移動販売つなぎ局へキッチンカー派遣を依頼し、3回、天空カフェを実施しました。8月と11月は、アミーユとデリナカズミの2店に出店いただき、地域からも来場者いらっしゃいました。地域に賑やかな雰囲気をお届けすることができました。
- ・被爆体験を聞く会実行委員会との共催企画として、「被爆80年 過去を学び・平和を考える 映画「ひろしま」上映会 In 松参寺」を開催しました。地域内外から40人の参加があり、原爆被害の実相を知る機会になるとともに、地主の和田蔵次さんから集団疎開の証言も聞く事ができました。
- ・信州子どもカフェ長野地域こどもカフェプラットフォームから食材提供を受けるとともに、プラットフォームが企画する研修に参加を行い、安全な場づくりに生かしました。
- ・路線バス廃止について、パブリックコメント「長野市 市内バス路線廃止に伴う対応案についての意見 中山間地の活力維持と未来を担う若者支援に不可欠な土休日バス運行の要望」を長野市へ提出しました。
- ・芋井地区住民自治協議会が主催するいもいリビングらぼに継続参加を行い、草刈りバスターズに2回、人員派遣を行いました。
- ・栽培した野菜の一部は、社会貢献の位置づけで精神保健ボランティア「ホワイトナッツ」に提供しました。
- ・11/9に開催された第6回ながの子ども・子育てフェスティバルに参加を行い、ながの協働ネットとともにスタンプラリーを実施し、多くの来場者へいもい農場を伝えることができました。
- ・参加要項並びに芋井地区へ配布している活動通信に赤い羽根共同募金で寄せられた募金活用事業である旨を記載し、共同募金の認知を広げることができました。
- ・遊休農地 SOS 松本忠富農園（篠ノ井）と情報交換を行い、忠富農園の取り組みをスタートさせました。天空の里 いもい農場の取り組みを参考にした具体的な実施例となりました。
- ・BLOG や Facebook を中心に、芋井地区の回覧板での活動通信お届け、ながのボランティア市民活動支援ネットワークの情報市場、第6回ながの子ども・子育てフェスティバルなど、さまざまな場で、活動の情報発信を行いました。

③ 主要な活動成果と課題

- ア) 2025年度の活動は、参加レビュー28件中96%が「良かった」以上の評価をつけ、活動内容と運営の両面で極めて高い満足度を達成しました。

成果項目	評価内容	参加者レビューによる実証
農育・食育の成功	「田畠で農作物を育てる」「育てた農作物をすぐ食べる」体験が活動の核となり、食への関心と感謝を育むことに成功。「野菜嫌い克服」など具体的な食育効果を確認。	Q2良かったこと: 25件/20件が選択
多世代交流の充実	家族や地域を越えた交流の場として機能し、多世代間の学びの機会を提供。	Q2良かったこと: 15件が選択
課外活動の企画力	流しうめん、クラフト、野草の天ぷら、生き物探し(探蝶会)など、農作業以外の体験企画が、参加者の満足度を飛躍的に向上させた。	Q2良かったこと: 22件が選択
運営スタッフのホスピタリティ	「いつも明るくリード」「車が見えなくなるまで手を振って見送ってくれる」など、スタッフの丁寧で献身的な対応が高い感動を呼んだ。	Q4 運営スタッフへの一言
参加者の主体性向上	参加者が指示を待たずに率先して動き、主体的に場を形成する意識が育った。	Q3 総評: 「言わなくても率先して動く」「自分で状況を判断できるようになった」

イ) 活動における課題（2026年度への反省点）

●極めて高い活動成果の裏側で、運営の持続可能性に関する課題が表面化しました。

- ・スタッフ負担の過重化（最重要）：レビューの自由記述において、「スタッフの皆様のお仕事多すぎやしませんかと心配」「ご無理なさらざり」といった運営スタッフの過重労働を懸念する声が目立ちました。このままでは、活動の質を担保しているスタッフの献身性を維持できなくなるリスクがあります。
- ・協働体制への移行の遅れ：参加者から「もっと（協働の役割を）振っていただいても大丈夫」といった協力意向が寄せられており、「もてなし」から「協働」への移行が不完全であり、運営スタッフが多くの作業を抱え込んでいる状態が見受けられます。
- ・多様な参加者への配慮：「人が多そうな回は参加を見送った」との声があり、活動規模拡大に伴う未就学児連れなど特定の参加者層への環境配慮が不足している可能性があります。

（2）2026年度のすすめ方

2026年度は、2025年度に達成された活動の質を維持しつつ、運営体制の持続可能性を確立することを最重要目標とします。

●基本的な考え方

ボランティア団体としてできる事の限界を見極め、参加者を活動の協力者（協働の仲間）として積極的に位置づけます。運営スタッフが「無理なく、楽しく」活動を継続できる体制を構築することで、地域とのつながりを深め、頼りにされる存在を目指します。安全な場の運営は引き続き徹底します。

① 持続可能な「協働」運営体制を確立し、活動を推進します。

参加者が活動に主体的に関わり、それぞれ「参加して良かった」「楽しかった」と思ってもらえるような場を作るという目標を、「協働」を通じて達成します。

ア) 参加者への権限委譲と役割分担の導入

- ・レビューで確認された参加者の高い協力意向を活かし、「受付サポート」「資材片付けリーダー」など、負担の少ないタスクを参加者に意図的に委譲する「ライトな役割分担制」を試行します。
- ・運営スタッフのできることを活かして、多世代交流の充実を図ります。（運営負担軽減の観点から、交流は参加者主体となるよう促します）

イ) 業務の標準化とスタッフの負担軽減

- ・活動準備や当日の安全管理に関する標準作業マニュアルやチェックリストを整備し、新任スタッフや協力者でもスムーズに運営に参画できるようにします。

② 活動を通じた「深い学び」の場を強化します。

参加することで「参加者それぞれの暮らしが豊かになるような気付きの場」となることを目指します。

ア) 特定プログラムの定例化と専門家連携

- ・高い満足度を得た「生き物探し・探蝶会」など、農作業と並行して行える環境・自然学習プログラムを拡充し、プログラムの質をさらに高めるために、関連分野の専門家や団体との連携を強化します。

イ) 子どもたちの主体性向上

- ・レビューで成功例が示唆された「畑のオーナーシップ」を意識した仕組みを導入し、子どもたちが担当作物や区画に責任を持ち、より深く活動に関われるよう工夫します。

③ 多様な参加者に対応できる環境を整備します。

ア) 未就学児連れへの配慮

- ・混雑時や天候不順の際に、小さい子ども連れの家族が安心して利用できる簡易的な休憩・避難スペース（社会会館内的一部スペース活用など）を確保し、参加層の定着を図ります。

イ) 参加者数が多い回や活動内容に応じて、グループ分けを徹底し、活動がスムーズに進むよう工夫します。

4. 会計報告

(1) 一般会計（期間：2025年2月1日～2026年1月31日）

単位：円

収入		支出	
前年度繰り越し	206,734	農機具・肥料等	92,437
正・賛助会員費	65,000	種苗等	135,704
参加費（飛入含む）	302,500	通信費等	2,970
お米・リンゴ栽培協力金	94,000	食料・消耗品等	329,969
助成金 ※1	86,000	地元への支払い等	134,132
寄付金	10,730		
長野県共同募金	500,000	2025 バスで Go !	524,163
その他 ※2	170,330	次年度繰り越し	215,889
収入合計	1,435,264	支出合計	1,435,264

※1 助成金は、信州こどもカフェ運営緊急支援助成、コープながの（コープサークル活動補助）

※2 その他は、2024年度作業当代、バーベキュー代、ジャガイモ・お米・リンゴジュース代金

5. 添付資料

(1) 2025年度参加者レビュー全文（別紙）

(2) 一般会計報告詳細版（総会資料別冊 P8～21）

以上